

部局名	教育委員会	所属名	保健体育課	所属長名	升野 嘉久	電 話	481-0303
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3542		事務事業名称	単独給食校運営事業					短縮コード	経常	3542	臨時	3501
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	学校給食費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		学校給食法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・昭和29年学校給食法の施行により単独給食校での給食が開始した。 1．賃金 2．消耗品費 3．修繕料 4．賄材料費 5．通信運搬費 6．手数料 7．委託料①給食室清掃②グリストラップ清掃③害虫駆除④食品検査⑤厨房機器保守点検 8．使用料及び賃借料 9．備品購入 これらについて契約・支出事務等を行った。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
・献立内容の多様化により取り扱う食材が増えた。これからも安全なしかも良質で安価な食材の購入が不可欠であると共に、衛生管理面では、給食施設のドライシステム化及び作業のドライ運用化の重要性が増してきている。また、八千代台東小学校と八千代台東第二小学校の統合により、平成25年度から単独給食校が1校減ることとなる。					大項目（節）	01	第1節教育						
					中 項 目	02	2. 義務教育						
					小項目（施策）	03	(3)健康・安全の確保						
					細 項 目	04	④食育の推進						
実 施 計 画 の 計 画 事 業													
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	単独給食校5校 （大和田小，阿蘇小，八千代台東小，新木戸小，萱田小）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 1．賃金 2．消耗品費 3．修繕料 4．賄材料費 5．通信運搬費 6．手数料 7．委託料①給食室清掃②グリストラップ清掃③害虫駆除④食品検査 8．使用料及び賃借料①栄養管理システム（PC）②萱小食器洗浄機③回転釜・コンベクションオープン④昇降式消毒保管機⑤マイコンスライサー これらについての契約・支出事務等。							
	※平成25年度に計画していること： 平成24年度と同じ							
意図 （何を狙っているのか）	・安価で良質な食品を使用した栄養バランスのとれた学校給食の提供。 ・給食内容と施設設備の維持，衛生管理，調理用品の充実により，衛生的且つ能率的な調理作業ができることによる安心安全な学校給食の提供。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	23年度	24年度		25年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	単独給食校数	校	5	5	5	4	
	指標2	年間食数（児童・教職員）	食	615,046	630,230	592,483	523,000	
	指標3							
活動指標	指標1	維持管理支払総額	円	26,555,113	31,732,000	28,455,783	28,404,000	
	指標2	賄材料支払総額	円	163,092,888	167,515,000	157,164,000	140,691,000	
	指標3							
成果指標	指標1	維持管理支払総額／児童数	円	8,296	10,180	9,692	10,520	
	指標2	栄養摂取量(栄養素9項目の平均)	%	146.4	100	136.5	100	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3542	事務事業名称	単独給食校運営事業			所属名	保健体育課
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	28, 769	34, 420	29, 282	29, 090	
		その他	千円	162, 367	166, 540	156, 338	140, 005	
	主な事業費の内訳			賄材料費： 163, 092, 888 消耗品費 4, 569, 622 使用料及び賃借料： 3, 166, 260 調理員賃金：12, 147, 940	賄材料費： 167, 515, 000 消耗品費 4, 128, 000 使用料及び賃借料： 2, 627, 000 調理員賃金：16, 866, 000	賄材料費： 157, 164千円 消耗品費 4, 149千円 使用料及び賃借料： 2, 627千円 調理員賃金：14, 281千円	賄材料費： 140, 691千円 消耗品費 3, 615, 千円 使用料及び賃借料： 3, 789千円 調理員賃金：11, 265, 千円	
	人件費 (B)			千円	158, 174. 8	154, 321. 7	134, 675	
トータルコスト (A) + (B)			千円		349, 310. 8	355, 281. 7	320, 295	
							132, 989. 8	
							302, 084. 8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		健康・安全の確保に結び付いている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		引き続き安価で良質な食品を使用した栄養のバランスのとれた学校給食の提供を行なわなければならないため。また、衛生面を常に心がけるとともに児童の成長及び健康増進を図り、望ましい食習慣を身に付けさせなければならないため。					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		この事業は、ただ単に児童への食事の提供ではない。栄養バランスの管理や衛生面での指導の徹底，さらには児童の成長及び健康の増進，自己管理能力の育成等，教育的な要素が多く民営化には適さない。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		所期目的には，変更がなく，対象・意図は，現状のままでよい。					
			☐ 見直す必要がある							
☐ 評価対象外事項										
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		現在，児童の望ましい食習慣の育成や健康の増進，安全で良質な食品を使用した給食の提供に努めており，その有効性や効率性の向上についても努力してきている。これ以上の効率性を追求すると事業の本来の目的が達成できなくなってしまうため。					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性がある							
			☒ 可能性がない							
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等							
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用							
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し							
			☐ 受益者負担の見直し							
			☐ 類似事業との統合・役割見直し							
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
						2		実施主体 (所管部署)		
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある							
			☐ ない							

コード	3542	事務事業名称	単独給食校運営事業			所属名	保健体育課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今後も良質な食品を使用した栄養バランスのとれた学校給食の提供を継続して実施していきたい。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現在、様々な見直しを改善をしているので、成果については大きな変化はない。経費については八千代台東小学校と八千代台東第二小学校を統合し、八千代市学校給食センター受配校とするため、単独給食校が5校から4校となり削減の方向となる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☒	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・学校給食についての安全性への関心が高い。栄養のバランスのとれた、おいしくバラエティに富んだ献立内容，衛生管理の行き届いた施設設備での調理作業等，安心安全な学校給食が求められている。	

所属長コメント	単独給食校の施設設備の安全衛生管理が行われ, 栄養バランスのとれた安全な学校給食を提供できている。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		